移住人 04　小澤（おざわ）　聡（さとし）（1971 年生）

◆生立ち～仕事・サーフィン

日吉郊外（横浜市）に生まれ、幼少に武蔵小杉に引っ越す。学生時代にＪリーグが発足。地元の大人気チームのヴェルディ川崎を応援せず、アントラーズを応援。

学生時代に「将来は弁護士になろう」と 19 歳から努力するが、2 千人の壁を越えられず、日韓ワールドカップなどもあり、30 歳の頃に撤退。また、28 歳でサーフィンに出会う。

仕方ないので就職しようと、30 歳でダイヤモンド社（経済情報誌の出版社）系列の会社に勤務する。しかし、社内政治のいけにえにされて 1 年ほどで退社。この頃から海辺で金曜日から日曜日までの車中泊生活を始める。また、33 歳頃から年に 3 回の海外サーフトリップを始める。35 歳頃から鹿嶋・鉾田に入り浸る。

次に現在の会社（主婦向けの雑誌を製作）を発見し就職。健康記事や料理、旅行、有名人対談（※１）などの記事を製作し、10 年ほどで編集長となる。

※１仕事で最近お会いした有名人

中澤佑二さん、結城アンナさん、麻木久仁子さん、樋口恵子さん、武田双雲さん、高橋尚子さん、小倉智昭さん、名取裕子さん、古坂大魔王さん、村雨辰剛さん、阿川佐和子さん、水前寺清子さん、三宅裕司さん、片岡鶴太郎さんなど。

◆鹿嶋への移住と今後

鹿嶋では、金曜日の夜に入り、土曜日の朝からサーフィン。夜はカシマハイツで風呂に入り、神栖のファミレスなどで時間を潰し、日曜の夕方までサーフィンするか車内に居住。

そんな時、東京で生活する必要があるのか疑問に思い、週 5 東京＆週 2 鹿嶋の生活を逆転してみようと検討し始める。また、猛暑や極寒で車中泊が辛くなってきたことにも後押しされる。「サーフィン後に仕事ができる」「コーヒーが飲める」「自炊ができる」条件を探したところ、運よく「まちかし」（まちづくり鹿嶋ワーキングスペース）を発見する。

その後、世の中でリモートワークが大流行する。社員をリモートにしたうえ、自分は 1 年間出社して様子を伺い、鹿嶋移住ができると計算し、鹿島大野駅付近に移住。リモートワークを基本に、月に 3 回ほど上京して出社をしつつ、1 年半が経過する。

今年は仕事も兼ねて、YouTube を始め、PayPay を覚える。

東京で仕事をしながら、鹿嶋で週末サーフィン、そして鹿嶋へ移住

学生時代――――――28 歳――――――――――――――――――33 歳――――――――――――――――――――――――43 歳――――――――――――――――――――49 歳――――――――51 歳（現在）――――――――――

仕事

10 年間は司法試験に挑戦

初めての就職（編集社）

半年後再就職（現会社）

10 年後に編集長へ

リモートワーク（コロナ）

移住（鹿嶋へ）

月 4 回東京へ

サーフィン

初めての波乗（九十九里）

初めての鹿島灘（鹿嶋）

◆海外サーフトリップとトラブル
・インドネシア（バリ島、ニアス、メンタワイ、スンバワ）10 回以上。お湯シャワーが出れば感激
・オーストラリア：毎日がトラブル
・ハワイ：母親を連れて 4 島制覇
・カリフォルニア：食べ物が全て脂と糖
・モルジブ：激流で死にそうになる
・南アフリカ：サメがめちゃくちゃ怖い
・台湾：日本と感覚は近い
・タヒチ：溺死寸前
・キャロライン諸島：ココナッツジュースは美味かった
・フランス：気胸のまま行き呼吸不全になりそう
・モロッコ：夜中まで宿探しで苦しむ

ローカルサーファーに

朝サーフィン、昼仕事、
夕方海へ生活サイクル

車

車中泊の仕方～15 年前から始める。これで福島・茨城・九十九里・鴨川・伊豆下田などどこでも行ける。
・国産ミニバンを買う（安くていい）→２段目３段目をフラットにする→家で余った布団を敷く（なければニトリなど）→窓に車用カーテンかバスタオルなどを張る→駐車スペースとトイレを見つけて寝る。
・恐怖感と闘う：車上荒らしや強盗、お化けは出ない（中年の男性を襲うメリットは少ない）。家で眠るのと車で眠る差は、コンクリートなり木造と鉄板の差にすぎない。ただし、高温多湿と零度以下になったらネットカフェに逃げる。

「スプリンターカリブ」（30 歳,2 年使用）

近所の中古車販売店で特価 8 万円。「これ動きます？」「動くよ、トヨタだし」ということで現金一括払い。しかし、九十九里北部で、高齢者の赤信号無視運転で大破。

「ステップワゴン初期」（32 歳,8 年使用）

10 年落ち、33 万円、96000km で念願のミニバンを買う。持っているサーフボードを全部突っ込んで、車中泊生活を始める。23 万 km 走行し、オイル漏れと窓ガラス多数ひび割れにより廃車。

「プジョー307sw」（40 歳,2 年使用）

「外車は楽しいよ」という知人の言葉に乗せられ、「家と車に金をかけた男は身を崩す」「サーフグッズ以外にお金はかけない」という戒めを破り、ヤフオクで 32 万円購入。大きな故障はないが、小型 sw だと大の字で眠れず、車検前にエンジン目詰まり 30 万円の見積もりが出て廃車。

「ジャガーX タイプ」（42 歳,4 年使用）

以前から気になっていたジャガーのワゴンを 25 万円で購入。年に 1 回故障にめげず 4 年使用。車検前に 15 万円程度の要修理箇所が見つかり廃車。

「アルファロメオ SW159」（46 歳,使用）

以前から気になっていた 56000km 車体を岐阜の専門店まで行き 49 万円で購入。仮ナンバーで自走し、近所でナンバーを取得。年に 1 回の故障にめげず現在も使用。